

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名		キャリアライフプランニングⅣ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時間	後期	教室名	第2校舎302
担 当 教 員		川村・仲村・岩村・澤・林・河上	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
ビジネスマナーや適性検査・自己分析を進め、個々の特性や価値観を知知り、就職活動に活用できるようにし、具体的に就職活動に入る準備を整える。							
《成績評価の方法と基準》							
1.レポート(70%) 2.出席評価(20%) 2.授業態度と参加度(10%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
柔道整復学・理論編 改訂第7版 (南江堂) 柔道整復学・実技編 改訂第2版 (南江堂)							
《授業外における学習方法》							
講義内にての配布資料の復習 グループディスカッション							
《履修に当たっての留意点》							
グループディスカッションを多く用いた演習形式の講義形態になりますので、積極的に参加してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(1)		配布資料 PC、プロジェクター		
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の業務範囲について				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(2)		配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の業務範囲外疾患への対応について				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(3)		配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	療養費について①				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(4)		配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	療養費について②				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(5)		配布資料 PC、プロジェクター	配布資料にて予習・復習	
		各コマにおける授業予定	開業準備時に必要な知識について①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(6)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業準備時に必要な知識について②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(7)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業後に必要な知識について①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師になるために必要な知識を確認し理解を深める(8)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	開業後に必要な知識について②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団行動について理解を深める(1)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団行動について理解を深める(2)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団行動について理解を深める(3)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団行動について理解を深める(4)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	グループディスカッション④		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の社会的意義と必要なスキルが理解できる(1)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の社会的意義について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師の社会的意義と必要なスキルが理解できる(2)	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	柔道整復師の多職種連携について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 PC、プロジェクトター	配布資料にて予習・復習
		各コマにおける授業予定	第1回～第14回までの知識、理解度の確認を行う		